

製品名: シンテニン (7V6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18515**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:10-1:100
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	SDCBP
別名	MDA9; SDCBP; ST1; SYCL; Syntenin 1; TACIP18;
遺伝子 ID	6386.0
SwissProt ID	O00560
免疫原	ヒトシンテニンの合成ペプチド

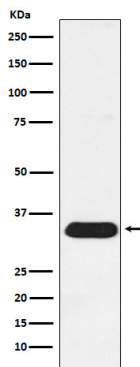
背景

アダプタータンパク質として機能すると考えられる。接着結合において、シンデカンを細胞骨格タンパク質またはシグナル伝達成分に結合させる働きがあると考えられる。転写因子 SOX4 を IL-5 受容体 (IL5RA) に結合させると考えられる。膜貫通タンパク質の輸送、神経調節および免疫調節、エクソソーム生合成、腫瘍形成など、多様な機能に關与する多機能アダプタータンパク質 (PubMed:26291527)。TGFB1 を介した SMAD2/3 活性化、TGFB1 誘導性上皮間葉転換 (EMT)、および様々な細胞種における細胞遊走を正に制御する。TGFR1 と CAV1 の相互作用、およびそれに続く CAV1 依存性の TGFR1 の内在化と分解を阻害することで、TGFR1 の細胞表面発現を増強し、TGFB1 シグナル伝達を増加させる可能性がある (PubMed:25893292)。SDC1/4 および PDCD6IP と協調して、エクソソームの生合成を制御する (PubMed:22660413)。様々な種類の癌において、遊走、成長、増殖、および細胞周期の進行を制御する (PubMed:26539120)。接着結合において、シンデカンを細胞骨格タンパク質またはシグナル伝達成分に結合させる機能を持つと考えられる。転写因子 SOX4 を IL-5 受容体 (IL5RA) に結合させると考えられる (PubMed:11498591)。また、小胞輸送にも關与している可能性がある (PubMed:11179419)。初期分泌経路において、TGFA を細胞表面へ標的化するために必要と考えられる (PubMed:10230395)。

研究分野

神経科学

画像データ



HeLa 細胞溶解物中のシンテニン発現のウェスタンブロット分析。